

Ernst Triebaumer

エルンスト・トリーバウマー



トリーバウマー家の初代はルター派の宗教難民として1691年にルストに移住し、代々農業を営んできた。世間に知られるようになったきっかけは1988年、雑誌ヴィナリアVinariaが世界の赤ワインをテーマにした品評会で、エルンスト・トリーバウマーの父が1960年代に植樹し、エルンストが醸造した1986年産ブラウフレンキッシュ「リート・マリエントール」の優勝だった。このワインは現在もオーストリアでは伝説のワインとして語り継がれている。

ルスト周辺は本来貴腐ワインのルスター・アウスブルッフの名産地として知られているが、トリーバウマーは約20haのぶどう畑のうち75%を赤ワイン用品種（50%ブラウフレンキッシュ、残りはカベルネ・ソーヴィニヨン、メルロなど）と辛口の白（シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブラン、ヴェルシュリースリング、グリュナー・ヴェルトリーナー）を栽培。環境に対する意識が高く、土壌を健康に保つ為には労を厭わない。CO2排出量を抑えるためトラクターの使用を出来るだけ避けて、耕耘の回数を減らし、ぶどう畑に羊を放し飼いにし除草と除葉と堆肥を与え、ミツバチを養い、鳥の巣箱を設置し、野菜を育て、豚も飼い、農地全体の調和とバランスを考えて経営している。

ノイジードラー湖に近い畑では甘口の貴腐ワイン用を、ルストの南西の珪岩、粘板岩、片麻岩、結晶片岩に粘土が混じる畑では辛口白用のぶどうを、ルストの北の貝殻石灰質が多く含まれる畑では赤ワイン用品種を栽培。手作業で選り抜いた収穫を、バリック樽を多用して必要なだけ十分な時間をかけて醸造する。現在はエルンストの二人の息子達（ヘルベルト、ゲアハルト）がワイン造りの伝統を継いでいる。

	○Grüner Veltliner グリュナー・ヴェルトリーナー				
畑	品種：グリュナー・ヴェルトリーナー 植樹：1995年頃 土壌：標高120m、石灰岩、石英、片麻石、粘板岩、粘土などから成る土壌	醸造	・果梗についてそのまま破碎して圧搾。 ・50%木樽、50%ステンレスタンクで醗酵。野生酵母。 ・澱引きせずに半年から1年間熟成。	備考	料理にあわせやすい辛口白。
	●Rosé (旧Entweder Rosé) ロゼ				
畑	品種：50%ブラウブルグンダー、50%ブラウフレンキッシュ 植樹：2000年頃 位置：南東向き 土壌：レス土、石灰岩土壌他	醸造	・白ワインと同様に圧搾。 ・ステンレスタンクで野生酵母で発酵。 ・発酵後、澱引きして、ステンレスタンクで翌年3月（6カ月間）熟成。	備考	2014年産から単にロゼと称している。 甘みのある味わいだが、伸びやかな酸味がすっきりと、洗い流す。
	●Blaufränkisch Rusterberg (旧Blaufränkisch) ブラウフレンキッシュ ルスターベルク				
畑	品種：ブラウフレンキッシュ100% 植樹：1985年頃、2000年頃 位置：標高140～200m、南東向き 土壌：レス土、石英、片麻石などから成る土壌	醸造	ステンレスタンクで20日間マセレーション。容量1100～3000ℓの木樽（一部新樽）で約6カ月熟成。	備考	最近までRusterberの畑名は、マジックで黒塗されていた。公的審査機関からの指摘で、ルスターベルクの畑名が公認されていないので、使用しないように指導されたため、抗議の意思を表明していた。VT2016の途中から問題は解消されている。
	●Blaufränkisch Gemärk ブラウフレンキッシュ ゲメルク				
畑	品種：ブラウフレンキッシュ100% 植樹： 位置：湖にむかってなだらかに傾斜する畑。湖面に近く、背後に森がある。 土壌：石灰を含む粘土質土壌	醸造	野生酵母で発酵。容量300ℓと500ℓの木樽（一部新樽）で熟成。ノンフィルターで瓶詰。	備考	サワーチェリー、ジュンパーベリー（西洋ネズ）、スターアニスのアロマ。 さわやかさと、しっかりした果実味を備えている、説得力のある味わい。

Ernst Triebaumer

エルンスト・トリーバウマー



	●Tridendron トリデンドロン			備考	Triは三つ、Dendronはギリシア語で「木」の意味。メルロベースにブラウフレンキッシュとカベルネ・ソーヴィニオンをブレンドしている。
	畑	品種：70%メルロ 15%ブラウフレンキッシュ 15%カベルネ・ソーヴィニオン 植樹：2000年頃、1985年頃 土壌：レス土、石英、石灰岩などから成る土壌	醸造		
	●Cabernet Sauvignon Merlot カベルネ ソーヴィニオン メルロ			備考	フィルターなし - ほのかに樹脂のヒント お香、セロリ、上質な紅茶、熟したビルベリー、ブラックカラント、完熟したパプリカ（スイートペッパー）。 ダークチョコレートのようなこまやかで非常にしっかりしたタンニンは、今後数十年にわたり、熟成ポテンシャルをもたらす。
	畑	品種：カベルネ・ソーヴィニオン60%、メルロ40%	醸造		
	●Blaufränkisch Mariental ブラウフレンキッシュ マリーエンタール			備考	石灰質を含む痩せた土壌、特別なマイクロリマと樹齢のとても高い葡萄樹。 1976年にトリーバウマー家が購入。1988年に1986年産のブラウフレンキッシュが世に出て注目を集めた。
	畑	品種：ブラウフレンキッシュ100% 植樹：1975年頃、1945年頃 土壌：石灰質土壌	醸造		
	●Blaufränkisch Oberer Wald & Mariental ブラウフレンキッシュ オーベラー ヴァルト ウント マリーエンタール			備考	オーベラー・ヴァルト、マリエントール、ともに畑の区画名
	畑	品種：ブラウフレンキッシュ 植樹：1975年頃、1945年頃 位置：ブドウの畝は南北方向に延びている。 土壌：石灰質を含む泥灰質土壌で、マリエントールよりも粘土質の割合が多い。	醸造		
	●Traubensaft Entweder Ohne トラウベンザフト エントヴェーダー オーネ （ブドウジュース980ml）			備考	トリーバウマー家の栽培する赤品種を使用した、無添加のぶどうジュース。酸味があるので飲み飽きないが、エキスもしっかりとあるので、炭酸水で割ってみてもいい。
	畑	品種：ブラウフレンキッシュ、シュペートブルグンダー、メルロー	製造工程		